

秋 平成23年度(2011) 秋季地区予選

F(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	岸根	新栄	光陵	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		8-0	9-8	9-2	9	16	1
岸根	0-8		7-10	7-5	3	-9	4
新栄	8-9	10-7		2-6	3	-2	2
光陵	2-9	5-7	6-2		3	-5	3

平成23年度(2011) 秋季県大会

【2回戦】
9月10日 藤沢八部球場
希望ヶ丘 2 3 3 0 0 2 4 | 14
横浜南陵 0 0 1 0 1 0 0 | 2
(七回コールド)
(希) 有村、加藤-瀬口
(横) 橋本、永田-荒井、相原
▽三塁打 所(希)
▽二塁打 菅野、栗原、利田(希)

【3回戦】
8月17日 俣野公園横浜薬大スタジアム
希望ヶ丘 0 0 0 0 1 0 1 2 0 | 4
法政二 0 0 0 6 1 1 0 2 x | 10
(希) 有村、加藤-瀬口
(法) 杉崎、田中-高山
▽三塁打 植木、中川(法)
▽二塁打 植木2、瀬口(希) 植木、柳館、青木、中川(法)

春 平成24年度(2012) 春季地区予選

G(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	橘学苑	日大	横浜南陵	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		3-8	1-4	6-5	3	-7	3
橘学苑	8-3		13-8	10-4	9	16	1
日大	4-1	8-13		4-0	6	2	2
横浜南陵	5-6	4-10	0-4		0	-11	4

夏 第94回全国高校野球選手権神奈川大会

【1回戦】11日相模原球場
試合時間2時間51分
逗子 0 0 2 0 1 2 0 1 0 | 6
希望ヶ丘 3 0 2 0 0 2 0 2 x | 9
(逗) 長澤、小湊、大野、長澤-宮田
(希) 有村-瀬口
▽三塁打 岩田(希)
▽犠打 逗6(三浦、茅、宮田、黒川、秋山2) 希6(所、植木、利田2、野島、小金澤)
▽盗塁 逗4(三浦、茅、長澤、宮崎) 希4(所、野島、岩田、栗原)
▽失策 逗5(長澤、黒川3、山崎) 希3(利田、つ栗原、菅野)
▽暴投 有村(希)、長澤(逗)

【2回戦】14日大和引地台球場
試合時間2時間17分
橘 0 0 0 0 0 2 3 0 0 | 5
希望ヶ丘 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0
(橘) 梅島-伊藤
(希) 有村、清水、加藤-瀬口
▽三塁打 後藤(橘)
▽犠打 橘3(関屋3) 希2(野島、栗原)
▽盗塁 橘1(吉田) 希0
▽失策 橘1(後藤) 希2(利田、有村)
▽暴投 梅島(橘)
▽ボーク 梅島(橘) 加藤(希)

野球部3年間の思い出

K65 野島 駿太郎

入部時右も左も分からず、生意気な私たちの代を包み込んでくれたK63の先輩方。1年夏からベンチ入りさせていただき、3年生とともに夏を戦えたことは忘れもしません。ダンス部によるチアリーダーングも初めて経験しました。来年こそはレギュラーとなり自分の応援をってもらうぞという意気込みとともに、絶対に将来ダンス部と付き合うという誓いを心の中で立て、当時付き合っていたラグビー部のマネージャーと泣く泣くお別れをしました。夏敗戦直後の球場近くで、ムードメーカーの3年生のために、ダンス部が特別にその方の応援歌を歌ってくれた時は、涙が出そうになりつつも、ちょっと笑ってしまいました。

代が変わり、こちらも生意気な私たちの代を包み込んでくれたK64の先輩方。K64の先輩方は、笑ってしまうくらい強い代で、練習試合でもそこら辺の高校には負けた記憶がなかったですが、如何せん曲者揃い。自らを最高人種と称し、学校中を牛耳っておられました。そんな姿に憧れ、未だに私は最高人種と自らを称しますが、大体失笑されます。何故なのでしょう。そんな楽しげな代の夏は、第一シードである厚木北高校と熱戦を繰り広げるも惜敗。自分としても非常に後悔の残る夏でしたが、その大会きっかけで、同じクラスのダンス部の子と付き合いしました。

ついに私たちの代となり、監督も増田先生に変わりました。K64に比べ実力がかなり足りていなかった為、学校生活の態度・野球に対する態度の改革を行い、死に物狂いで練習しました。ただ秋の大会が終わった際、気の緩みから事件がおきました。部室にて昼休みの終わりかけまで全員でトランプをしており、授業開始のチャイムがなったことに気づき、急いで部室から教室に向いました。その道中、なんと増田先生に遭遇。全員で顔を隠して、やり過ごすこともできたかもしれません。ただ我々はいつもの癖で気づいたら、「こんちはっ」と清々しいほど元気よく挨拶をしていました。レイコンマ数秒もたたずに、廊下には怒号。当然、グラウンドには1週間立たせてもらえず。その間、掃除のプロと化しました。そんな事件もありつつ、付き合っていた子にも振られたため、より野球に真摯に向き合うことができました。夏は2回戦で逗子高校に勝利したものの、3回戦で橘学苑に完敗。またも後悔が残る結果ではありましたが、仲間との3年間の思い出は今も色褪せることなく、胸に刻まれております。